

追跡調査結果

追跡調査 1 (2002(平成14)年7月…熱硬化9年目、光硬化6年目)

FRP内面補強工法(熱硬化)



TV調査



カッターではがし中
浸入水Aランクが出てきた



カッターではがした後

FRP内面補強工法(光硬化)



TV調査



カッターではがし中



カッターではがした後
取付管口部分は取れなかった

調査結果:

- ①TV調査…はくり、はがれがない
- ②施工物をカッターではがした時、浸入水Aランクを9年間保持していた

はがした施工物にJIS K 7171曲げ試験を行ったが、曲げ弾性率については、通常試験値と同じであり、6年目、9年目でも劣化進行はしていなかった。

以上の結果により、6年目(光硬化)、9年目(熱硬化)でも機械的物性は保持しており

●両端がある

●管きよに直接ライニング材を付着させている

という特長はあるが、10年間以上の耐用年数が保持できるといえます。

| 年 数 | 種 類 | 曲げ弾性率 | |
|-------|-------|------------------------|----------------------------------|
| 通常試験 | 光 硬 化 | 8,840N/mm ² | FRP内面補修工法 規格値(短期保証値) 曲げ弾性率 |
| | 熱 硬 化 | 9,320N/mm ² | |
| 6 年 目 | 光 硬 化 | 8,550N/mm ² | 5,900N/mm ² |
| 9 年 目 | 熱 硬 化 | 9,420N/mm ² | |